

市長が行く

No.113

茂原市長 田中豊彦



はじめに、今回の台風で被害を受けられた皆様方には、心からお見舞い申し上げます。

9月9日に関東地方を襲った台風15号は、当初想定された進路を大きく変えて、千葉県に上陸しました。雨量はこの茂原地区では総雨量80ミリ程度とされていたため、職員への配備は、総務部、都市建設部等に対応できるように準備しました。今までの経験から、最も懸念された河川の越水は起きずに済みそうだと思っておりますので、その時点では避難所の開設はしないこととしました。越水が起きないことばかりを願っております。

ところが、今回の脅威は水ではなく風でした。想定していたとおり越水はなかったものの、今までに経験したことのない猛烈な風が吹き荒れたため、至る所で倒木が起き、それが電線に引っかけたり、断線やひどい所では電柱までも

が倒れ、その結果長時間にわたって停電するという事態を引き起こしました。

市ではすぐに東京電力にホットラインを通じて状況を確認しようとしたのですが、全くつながらず、状況を把握できない状態がしばらく続きました。市民の方からはどうなっているのかという問い合わせの電話がひっきりなしで、職員も詳しく分からないため対応に大変苦慮しております。

被害状況が徐々に分かってくるにつれ、千葉県全体にわたって広い区域で停電が発生したことが分かりましたが、今まででしたら復旧にそれほど時間がかからなかったものが、今回は全く復旧のめどが立たず、市民の皆さんに大きな不安を与える結果となっしまいました。暑い中エアコンが使えないことによる熱中症、断水、一部ガソリンスタンドの給油停止による渋滞、

スーパーやコンビニの食料品不足など、パニック状態はしばらく続きました。

市では、生活困難者のために市内6カ所に避難所を開設し、また入浴に関しては、スポーツプラザイースト、茂原スポーツクラブのご協力を得て対応しました。屋根が壊れた方に対しては、ブルーシートを配布しました。

今回の経験により、このような災害時、ライフラインを早く復旧させることの重要性を痛感しました。また、私たちがいかに電気に依存して生活しているかも改めて考えさせられました。今後またこのような猛威を振るう台風が襲ってくることは、十分に想定されます。そのための対策を早急に立てていくとともに、やはり私が普段から申し上げているように、基金を積み立てていくことの必要性を強く感じております。